

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	浅草橋オールディーズナイト実行委員会			
事 業 名	おたる歴史紀行音楽きこう			
実施期間	平成 30 年 5 月 19 日(土)、20 日(日)、9 月 16 日(日)、17 日(祝)			
事業の目的及び期待する効果	<p>日本人なら誰もが持っている懐かしい風景。長い歴史の中で培ってきた豊かな文化。来たる年の豊作や大漁を願って、神に祈りを捧げてきた日本人。それぞれの土地に根づく風習・自然・建築・工芸・食文化などを丹念にたどっていくと、日本人が長年かけていかに深い文化を築いてきたかを実感することができます。「おたる歴史紀行音楽きこう」は、小樽に残り再生された一世紀余りの時を体現している、歴史的建造物の数々を利用した新たな音楽イベントです。</p> <p>日本の暮らしや風景は、すさまじい勢いで変貌を続けています。「おたる歴史紀行音楽きこう」が目指すのは、未来への市民参加の文化遺産です。小樽の原点や原風景をしっかりと見つめたい。そして、未来の世代が、自分たちの足下を確かめるための材料をイベントとして遺したい。そんな思いを込めています。</p> <p>小樽には現在、市指定の歴史的建造物が 75 棟あり、広く市民、観光客を楽しませています。また、それに準ずる歴史的な建物も多く現存し、歴史とロマンの街として、全国に鳴り響いております。今回、守って残した遺産を、使って活用するというコンセプトのもとに開催いたします。観光宣言都市「小樽」にふさわしいイベントを開催することにより、中央市街地に多くの方々を集客し地域の活性化につなげます。</p>			
実施額	事業費	1,031,404 円	助成額	300,000 円
事業内容	<p style="text-align: right;">※★印は助成対象事業</p> <p>4 年前 5 月旧小樽区公会堂、9 月旧日石倉庫(運河公園休憩棟)を利用して、同名イベントをプレ開催し、一昨年より本格的にこのイベントを開催し、以下のプログラムを盛り込み、今年度も昨年に続き春、秋 2 回実施した。</p> <p>① ★市内及び近隣の高校で音楽の部活動や課外活動として音楽に取り組んでいる生徒に向けた、音楽専門学校講師(藤田圭一郎先生)による無料講習会(5/19、9/16)</p> <p>② ★講習修了後、翌日に受講生による発表会を開催(5/20、9/17)。</p> <p>③ ★ボランティアガイドによる、小樽市の歴史や歴建の詳細な案内を講習修了後と発表会終了後に開催</p> <p>④道内各地から参加いただくバンド競演イベント</p> <p>すべての世代に楽しんでいただけるものを用意し、多くの市民や観光客の皆様「新たな歴建の魅力」を提供いたしたいと思っております。高校生イベントは市民、観光客に対して無料で開放し、高校生以外の出演者の運営協力費と助成金、一般部門での入場料で運営致しました。</p>			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
5/19(土)	会場設営、高校生講習会、一般イベント	約 100 名	26 名(14)
5/20(日)	高校生発表会、一般イベント、会場原状回復	約 100 名	53 名
9/16(日)	会場設営、高校生講習会、一般イベント	約 100 名	25 名(15)
9/17(祝)	高校生発表会、一般イベント、会場原状回復	約 100 名	62 名

○事業評価について

<p>1. 事業の目的の達成度</p> <p>5月春の高校生バンド講習会は、昨年9月と同じ水産高校の3バンドと新たに双葉高校の1バンドの参加となりました。9月秋は、どの学校も3年生が夏の学校祭でクラブを引退しているという事で、1.2年生対象の講習会となりましたが、水産高校の3バンド、札幌厚別高校の1バンドの参加をいただき、大変盛況に講習会を開催できました。達成度としては、水産高校以外の高校からの参加と、小樽市以外の高校からの参加が得られ、徐々に講習会が浸透してきていると考えています。</p>
<p>2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度</p> <p>春、秋の講習に参加した8バンドからは、目を輝かせ大変勉強になりましたと言質をいただきました。また、春秋4日間ともに参加された水産高校軽音部顧問三宅大介先生から、生徒たちにとって大変刺激になり、そして小樽の歴建の勉強にもなったと、お礼をいただきました。また、春、秋の両日ともに講習を受けていない他校、同高の高校生の入場も確認させていただき、今後への関心の高さをうかがえました。</p>
<p>3. 今後の事業について</p> <p>今回で協働事業助成金は終了致しますが、以下に注意し事業を継続させてまいります。</p> <p>高文連小樽後志支部軽音楽部会、高音連後志支部と日程調整し、学校行事(試験期間等)、高文連、高音連支部行事と重ならないよう配慮すること。また、軽音楽部(同好会)活動の盛んな札幌の高校にも直接働きかけ、受講を促すようにしていきたいと思えます。</p>
<p>4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等</p>